



# 株式会社エーアンドエーマテリアル

## 2021年3月期決算説明会

(証券コード：5391)

2021年6月10日



～当社グループの製品は  
日々の暮らしの中で活躍しています～

1. 会社概要
2. 2021年3月期連結業績  
および2022年3月期連結業績予想
3. 2023中期経営計画  
(2021年度～2023年度)
4. 参考資料

## 付属資料

- ・ 決算短信
- ・ 会社案内



# 会社概要

社名	株式会社エーアンドエーマテリアル	
本店所在地	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号	
創立	1924年3月（大正13年）2000年10月合併（平成12年）	
資本金	38億8千9百万円	
上場市場	東京証券取引所 市場第1部 [コード：5391]	
発行済株式	7,759,219 株（自己株式18,781株除く）	
主要株主	太平洋セメント株式会社	42.42%
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	4.53%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3.23%
	明治安田生命保険相互会社	2.98%
	株式会社みずほ銀行	2.59%
従業員数	863名（連結）215名（単体）	
拠点	7支店、11営業所、1工場（滋賀工場）	
グループ会社等	連結子会社9社	

（2021.3.31現在）



本社ビル  
（神奈川県横浜市）

「熱をコントロールする技術」を究めて新しい価値を創出し、安全・安心・快適な社会づくりに貢献します。



## セグメント別売上比率

(2021.3月期/連結)

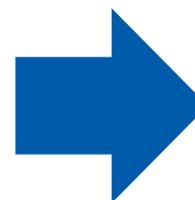
### 建設・建材事業

#### 材料販売

- ・不燃ボード
- ・不燃化粧ボード

#### 工事

- ・吹付耐火被覆
- ・護免火
- ・ボード内装



44%

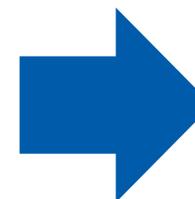
### 工業製品・エンジニアリング事業

#### 材料販売

- ・プラント
- ・鉄鋼
- ・船舶
- ・自動車

#### 工事

- ・保温
- ・保冷
- ・断熱



56%

	顧客・用途	特色
ハイラック (けい酸カルシウム板)	ゼネコン・建材工事店・建材商社 耐火間仕切壁、内装下地、軒天井	軽量で粘り強く衝撃に強い不燃材料 吸放湿による膨張収縮が小さい 国内 <b>シェアNo1</b>
ステンドシリーズ (化粧けい酸カルシウム板)	ゼネコン・建材工事店・建材商社 内装下地、軒天井	ハイラックの単色化粧板 全48色の抗菌仕様 特殊用途向け多数ラインナップ 国内 <b>シェアNo1</b>



	顧客・用途	特色
エフジーボード	ゼネコン・建材工事店・建材商社 コンサートホール・劇場・音楽室 内壁・間仕切壁・天井・柱	曲面施工が可能 遮音性に優れる
トンネライト	ゼネコン トンネル専用耐火防護板 シールドトンネル・海底トンネル	1,200℃の耐熱性 R形状も可能 国内 <b>シェアNo1</b>



	顧客・用途	特色
APコネクター	発電所・ボイラー・焼却場 排気ダクト継手	ダクトの変位、振動、応力吸収 国内 <b>シェアNo1</b>
ディスクロール	鉄鋼・ステンレス・ ガラスメーカー 高熱ステンレス搬送ロール 高熱ガラス搬送ロール	炉内の高温(1200℃)に耐える 断熱性を保持



	顧客・用途	特色
シリカ保温材	発電所・石油化学プラント 配管の保温	高い断熱性能 プラント等の高温配管を保温
ブレーキライニング	自動二輪車メーカー 軽四輪車メーカー ドラムブレーキ	安定した摩擦力 環境負荷物質の低減

シリカ保温材



ブレーキライニング



暮らしの中で活躍する  
エアンドエーマテリアルグループ

**トンネル**

ビューフィDN  
トンネル走行時の視認性を高めます。

トンネル  
トンネルを火災から守ります。

マンション

自動車

石油化学工場

タンク

トンネル  
トンネルを火災から守ります。

トンネライト  
トンネルを火災から守ります。

船舶

火力発電所

製鉄所

工場・倉庫

免震建物

エッジボード  
不燃の内装特長で  
遮音効果を高めます。

防火防熱工事  
人を熱（煙・塵）から守ります。

耐火復元工事  
鉄骨建物を火災から守ります。

防火火（ごみか）  
焼燃量を火災から守ります。

セルフレックス（外壁）  
不燃のボードで建物を守ります。

ハイフラック（内装）  
不燃のボードで建物を守ります。

ディスクロール（写真）/  
キルナイト#1000  
高層の扉内に導入しながら遮熱性を発揮します。

配管保護 保冷工事  
フロント漏れを防ぎます。

APコネクター  
ダクトの取組を、  
高い遮熱性をもって取組めます。

断熱工事  
冷凍機を保冷します。

船舶建築用材料  
船の内装や設備などを  
火災から守ります。

アクテクター（写真）/  
スーパーフェザーシリカ  
配管の漏れ防止を火災から守ります。

タンク保冷工事  
フロントの  
保護係率効果を高めます。

プレキワイニング  
セメタリックガスケットシート  
自動車安全性を高めます。

液断耐火パイプ  
漏水を火災から守ります。

ステンドシリーズ  
カフロン不燃内装化粧板です。

アデックシリーズ  
瓦葺きの不燃内装化粧板です。

コンサートホール

戸建住宅

小中学校

幼稚園

事務所ビル



# 2021年3月期連結業績 および2022年3月期連結業績予想

## 新型コロナウイルス感染症の影響

需要の大幅な減少や、工事の中断、新規着工の遅れ等により減収減益

### ◇建設・建材事業

<材販> 民間設備投資の落ち込みを受け、主力商品は国内外で出荷が減少

<工事> 工期の遅れや工事の中断により減収  
民間設備投資の低迷により新規物件が減少

### ◇工業製品・エンジニアリング事業

<材販> 船舶、鉄鋼、自動車関連は、世界経済の停滞による需要の大幅な減少を受け、出荷が減少  
プラント関連は、計画されていた工事の中止や工期の遅れ等により出荷が減少

<工事> 工期延期による影響を受け、プラント向けメンテナンス工事の受注が減少

# 2021年3月期連結業績および2022年3月期連結業績予想



単位：百万円

	2020年3月期 (実績)		2021年3月期 (予想) 2020.11.16付		2021年3月期 (実績)		2022年3月期 (予想)	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上高	42,761	3.6%	40,000	△6.5%	<b>37,204</b>	△13.0%	<b>39,000</b>	4.8%
営業利益	3,181	19.8%	1,800	△43.4%	<b>1,470</b>	△53.8%	<b>1,500</b>	2.0%
経常利益	3,151	20.1%	1,800	△42.9%	<b>1,578</b>	△49.9%	<b>1,500</b>	△5.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,992	0.9%	850	△57.3%	<b>727</b>	△63.5%	<b>900</b>	23.7%

## 【営業利益】

単位：百万円

<b>2021年3月期予想</b>	<b>1,800</b>	
◇建設・建材事業		
	+9	材販
	+32	工事
小計	+41	
◇工業製品・エンジニアリング事業		
	△305	材販
	△163	工事
小計	△468	
◇その他		
	+97	経費削減等
<b>2021年3月期実績</b>	<b>1,470</b>	

# セグメント別 連結売上高・連結営業利益



単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期	前期比
売上高 ※1	42,761	<b>37,204</b>	▲13.0
建設・建材事業	20,120	<b>16,387</b>	▲18.6
工業製品・エンジニアリング事業	22,597	<b>20,771</b>	▲8.1
その他	44	<b>45</b>	+2.2
セグメント利益	4,654	<b>2,820</b>	▲39.4
建設・建材事業	3,422	<b>2,238</b>	▲34.6
工業製品・エンジニアリング事業	1,213	<b>560</b>	▲53.8
その他	17	<b>21</b>	+22.7
調整額 ※2	▲1,472	<b>▲1,349</b>	▲8.3
連結営業利益	3,181	<b>1,470</b>	▲53.8

※1 セグメント別売上高は、外部顧客に対するものであります。

※2 「調整額」には、報告セグメントに帰属しない全社費用等が含まれます。

# 連結貸借対照表



- ・資産は、現預金が増加、売掛債権・未成工事支出金が減少。
- ・負債は、短期借入金が増加、仕入債務が減少。
- ・自己資本比率は39.5%と前期比3.4P改善。

単位：百万円

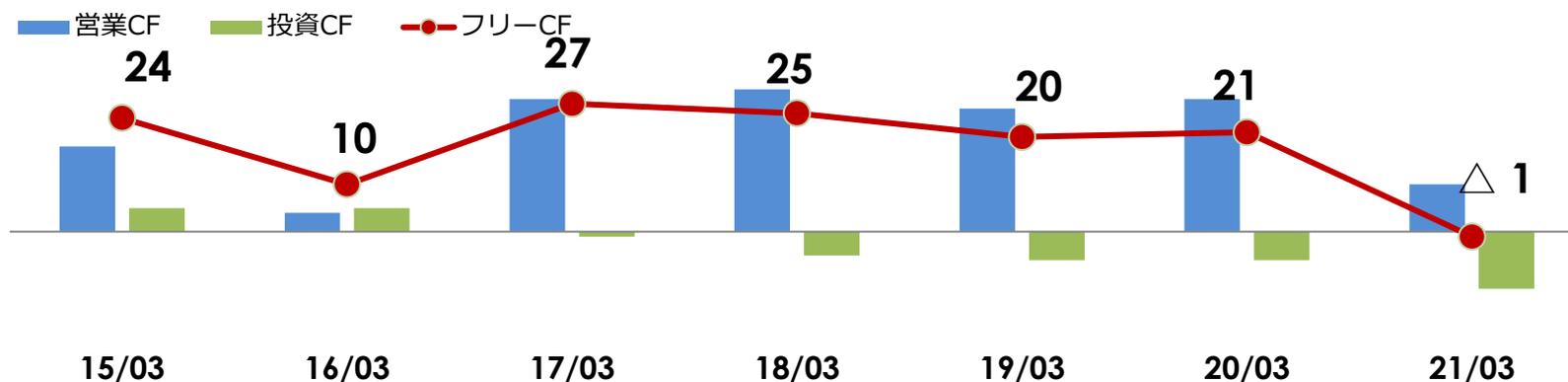
	2020年3月期末	2021年3月期	増減
流動資産	21,563	<b>19,539</b>	▲2,023
固定資産	17,905	<b>18,663</b>	+758
資産合計	39,468	<b>38,203</b>	▲1,265
流動負債	17,328	<b>15,659</b>	▲1,669
固定負債	7,903	<b>7,450</b>	▲452
負債合計	25,231	<b>23,110</b>	▲2,121
純資産合計	14,236	<b>15,092</b>	+856
負債純資産合計	39,468	<b>38,203</b>	▲1,265
自己資本比率	36.1%	<b>39.5%</b>	+3.4P

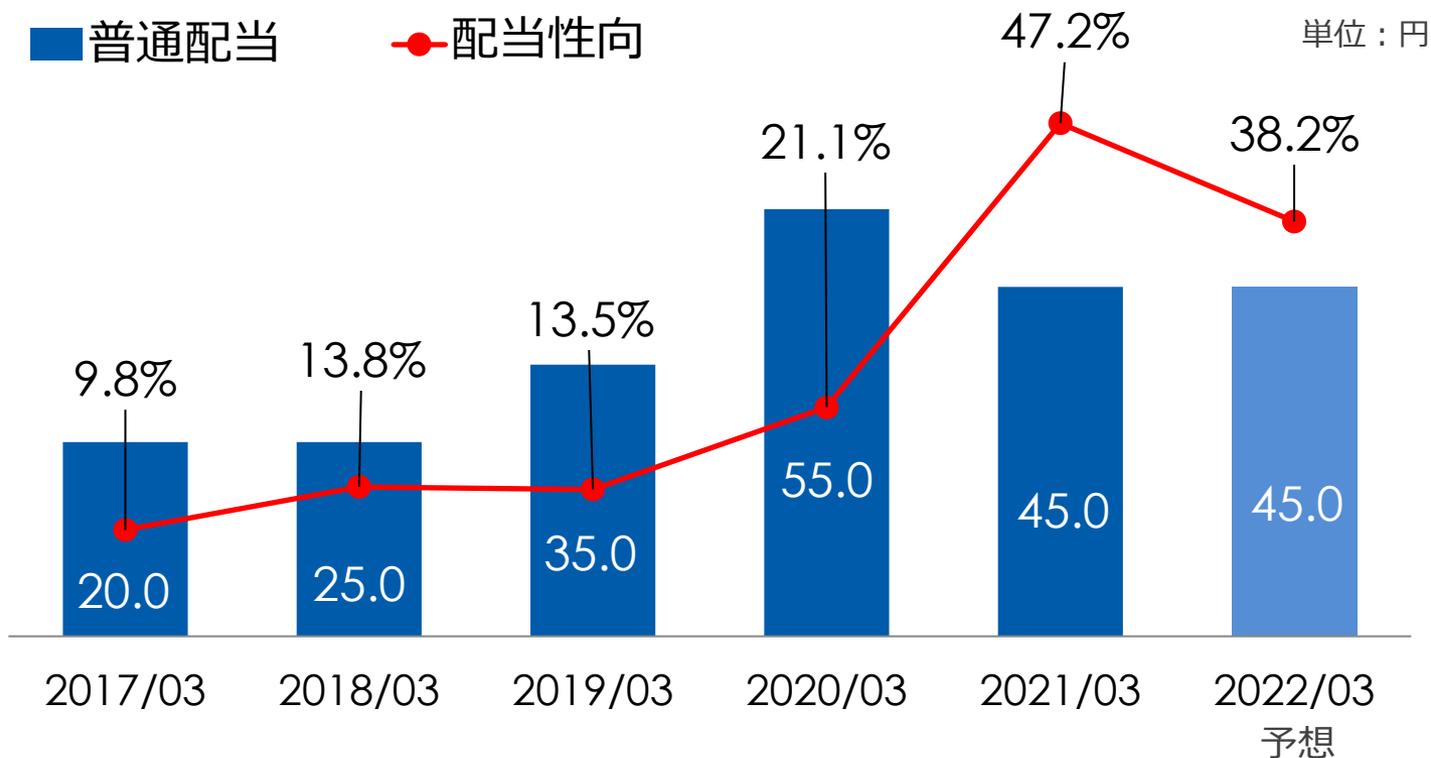
単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,818	<b>1,076</b>	▲1,742
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲663	<b>▲1,215</b>	▲552
フリーキャッシュ・フロー	1,391	<b>▲209</b>	▲2,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,753	<b>418</b>	+4,171
現金及び現金同等物の期末残高	1,797	<b>2,340</b>	+542

フリーキャッシュフローの推移

単位：億円





自己資本比率	23.5%	26.5%	30.8%	36.1%	39.5%	40.9%
有利子負債	129.3	104.1	82.6	49.2	57.7	50.0
実質有利子負債	86.2	65.2	48.6	31.1	34.2	34.0

単位：億円

### アスベスト訴訟関係

裁判所の判決に基づき、訴訟損失引当金を計上しております

- ・当社に係る訴訟は、全国で18件提訴

最高裁判決確定	2件(損害賠償の支払いを命ずる言渡し)
---------	---------------------

最高裁審議中	4件(2021年5月17日、内1件が高裁差し戻し)
--------	---------------------------

高裁審議中	2件
-------	----

地裁審議中	10件
-------	-----

- ・訴訟損失引当金567百万円を計上

2021年3月末現在



# 2023中期経営計画 (2021年度～2023年度)

## CSR基本方針

法令や社会規範を遵守し、公正で倫理観のある事業を推進します。



地球にやさしい企業であるために、環境を守り、育てる企業へ前進します。



お客様・従業員・地域からの信頼に応え、社会の発展に努めます。

- ・2030年度CO2排出量  
2013年度比26%減
- ・2030年度埋立処分率5%以下
- ・2030年度コピー用紙  
2020年度比60%削減
- ・環境配慮型製品化10品目

環境負荷の低減  
産業廃棄物の削減  
環境管理の徹底  
環境配慮型製品の開発



## 環境



## 社会



- ・女性管理職10%以上
- ・有給休暇取得率70%
- ・対象者の在宅率30%以上
- ・重大な製品事故0件
- ・独禁法・下請法違反0件
- ・各事業場、生産拠点での年1回以上の社会貢献活動実施

従業員とともに  
お客様とともに  
ビジネスパートナーとともに  
地域社会とともに



- ・ガバナンスコードの優先事項のピックアップおよび取り入れ
- ・全事業場でのBCP改善
- ・重大なコンプライアンス違反根絶
- ・社外取締役1/3以上の確保
- ・女性役員の選任

ガバナンスの強化  
コンプライアンスの徹底  
透明性の確保



## ガバナンス



## 「環境」に対する取り組み

### CO2排出量26%削減達成に向けて

当社グループのCO2排出量を2030年度までに2013年度比26%削減する

1. 生産工場における乾燥設備の更新・改良工事
2. ガスコージェネレーションシステムの設置
3. フォークリフトのバッテリータイプ比率向上
4. 重油使用設備のエネルギー転換
5. 太陽光発電を始めとする再生可能エネルギー使用比率向上
6. CO2回収技術等の情報収集および導入の検討

【投資額 15億円～20億円】



＜ウィズ／アフターコロナの時代を生き抜くために＞

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当社グループの売上・利益は計画を大きく下回る結果となりました。

そこで、2023中期経営計画では、まずコロナ禍前の利益水準へ早期に回復することを目標の柱とします。これからの不確定な時代を生き抜き、この目標を達成するため、以下の計画指針に沿って戦略を策定し、実行していきます。

2023中期経営計画グループスローガン

「次への飛躍を目指し、あらゆる生産性を向上する」

I. 事業とESGへの取組みの一体化に道筋をつける

II. 成長に向けた未来志向の事業戦略の推進

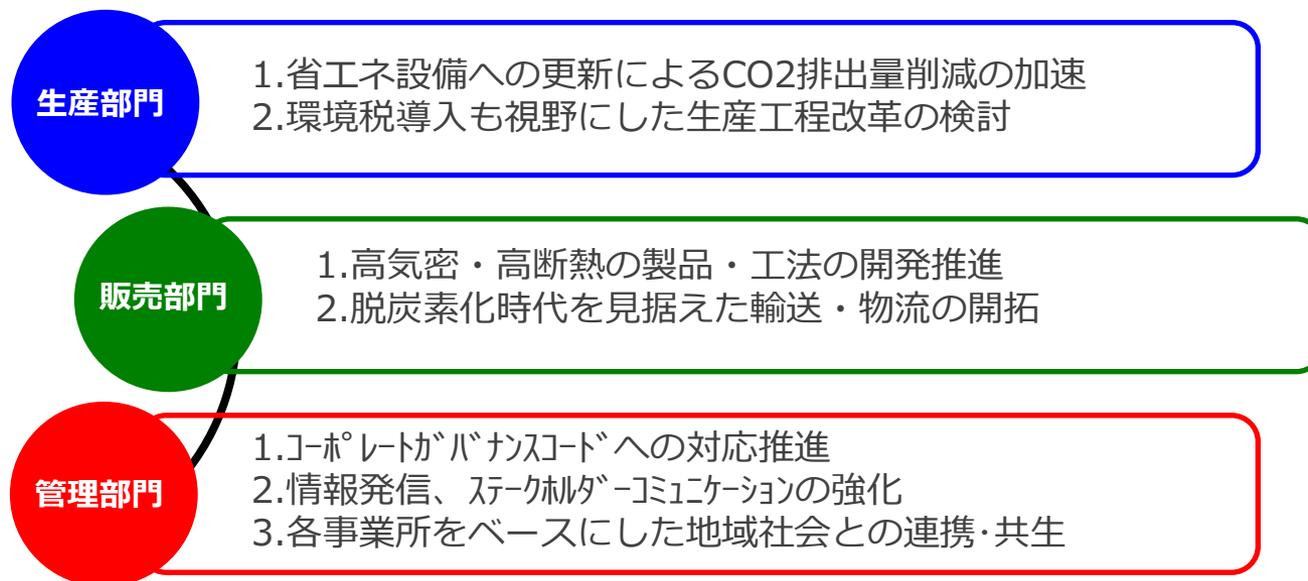
III. DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

IV. 従業員エンゲージメントの向上

CSR2030

## I. 事業とESGへの取組みの一体化に道筋をつける

CSR長期ビジョンの視点に立ち、「環境への配慮、ガバナンスの強化、社会との共生」を事業と一体で推進し、これらの投資を利益貢献につなげることで充実したESG情報を開示していく



## II. 成長に向けた未来志向の事業戦略の推進

成長分野に注力するための事業・組織の再編を進めるとともに、グループ企業間の連携を強化し、既存事業の深掘りと新たな事業の創造・育成を図る

### 建設・建材事業

- 1.化粧板の高機能化
- 2.環境対策工法・製品の開発
- 3.海外拠点の拡充

### 工事製品・エンジニアリング事業

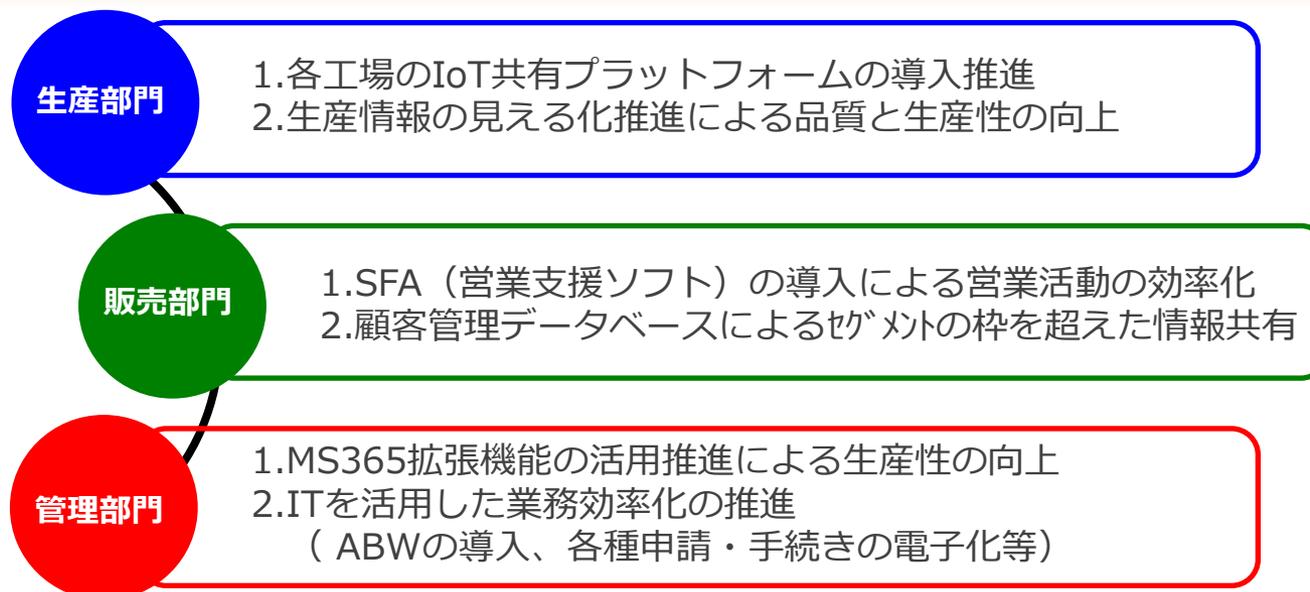
- 1.プラントのメンテナンス工事の拡大
- 2.インドネシア事業の周辺諸国への展開
- 3.保冷用パーライト充填材抜取工法の開発
- 4.中国市場への参入・拡大

### 新規事業

- 1.液体水素の保冷工法開発
- 2.感染症対策品の開発
- 3.事業領域拡大に向けたビジネスアライアンスの推進

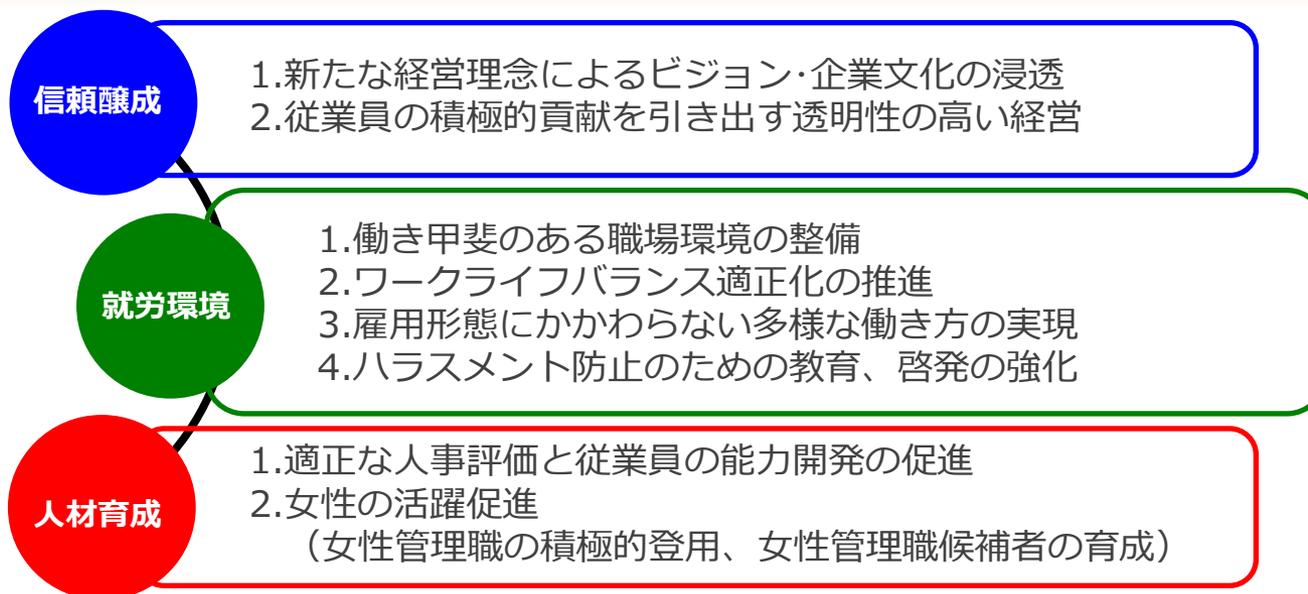
## Ⅲ. DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

進化したデジタル技術 (AI・IoT) を積極的に活用・浸透させ、業務効率の改善および企業風土の改革を図る

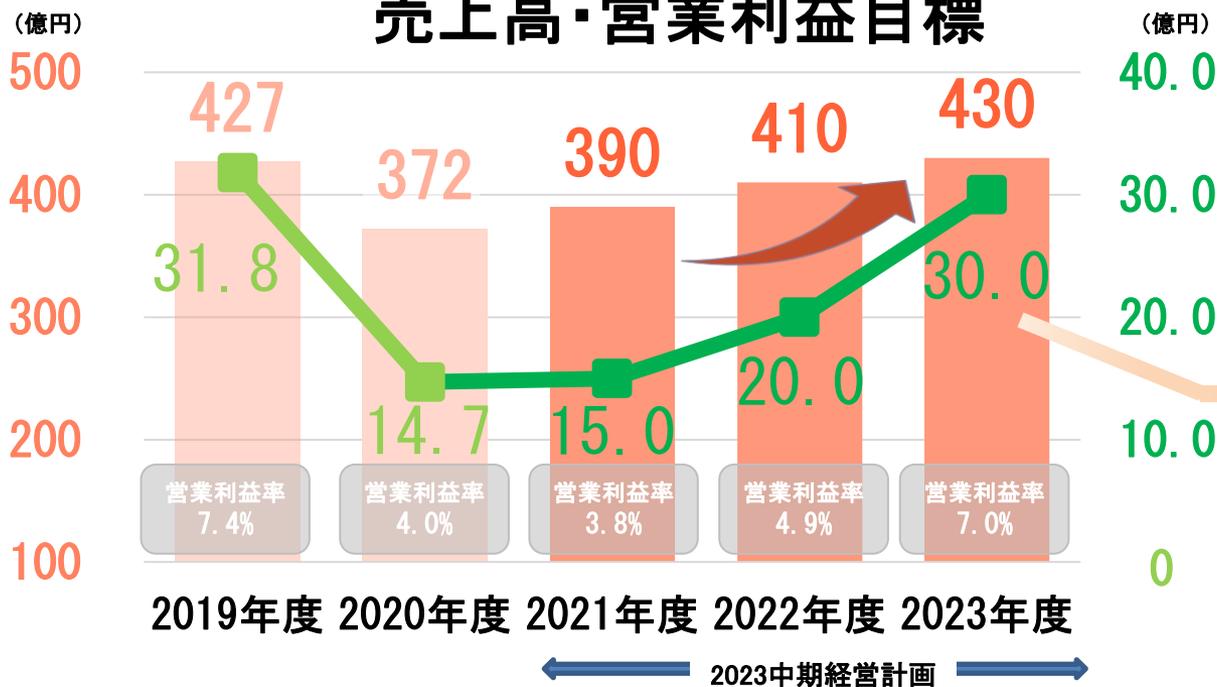


## IV. 従業員エンゲージメントの向上

業務に合わせた多様な就労環境を整え、従業員との強固な信頼関係構築を通じて  
価値ある企業集団としての成長を目指す



## 売上高・営業利益目標



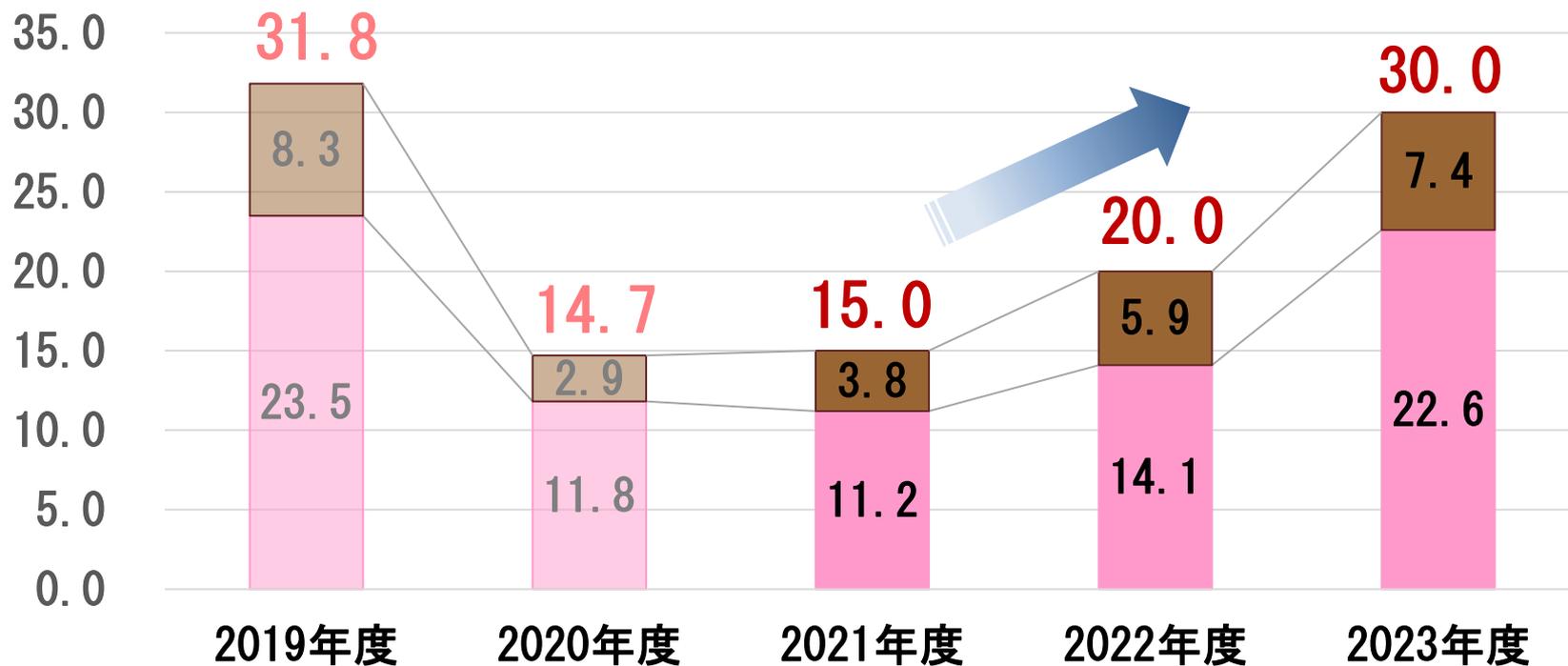
### 2023年度目標

売上高 430億円  
 営業利益 30億円  
 営業利益率 7.0%  
 自己資本比率 45%

■ 売上高 ■ 営業利益

(億円)

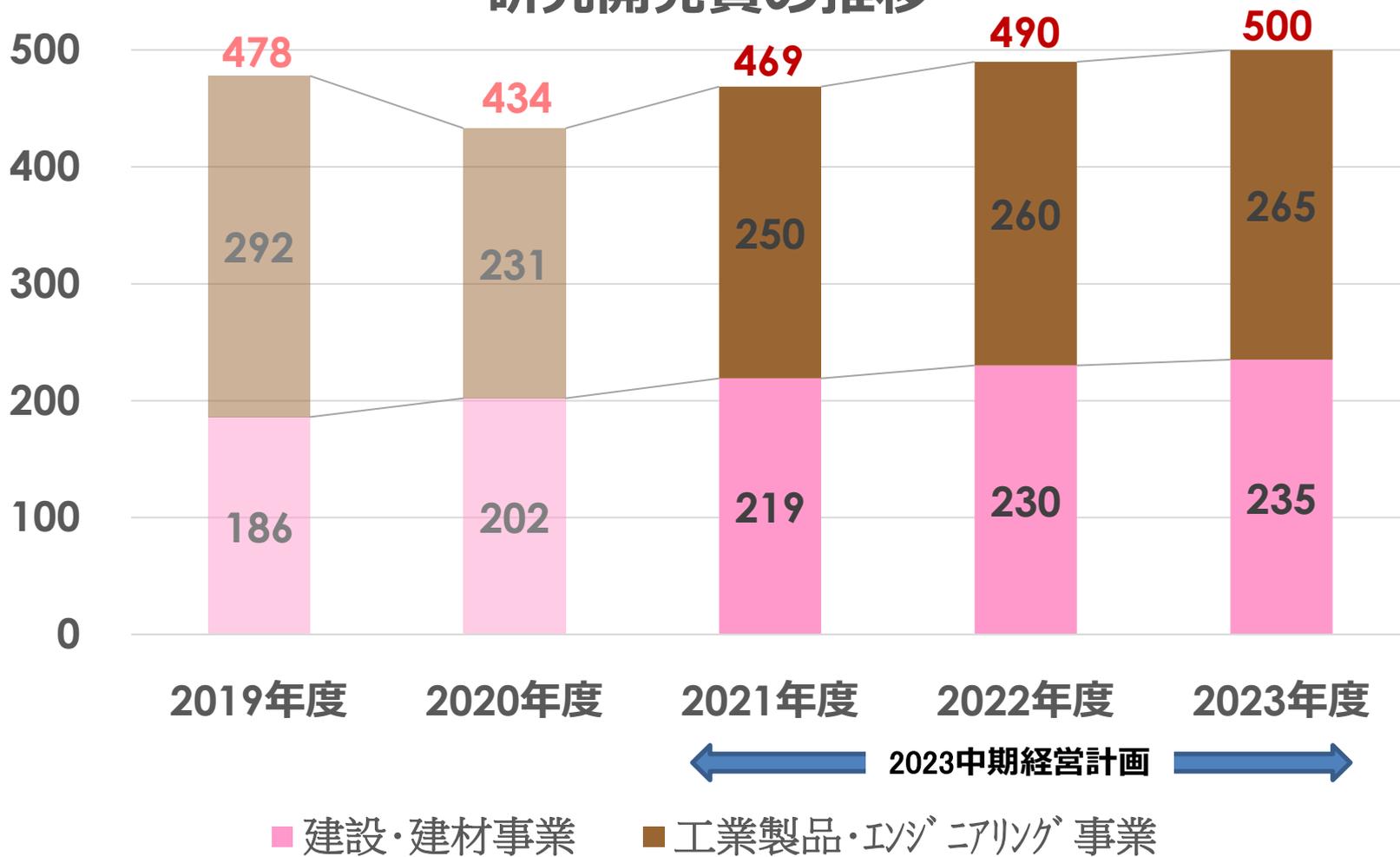
### 事業別営業利益



← 2023中期経営計画 →

■ 建設・建材事業    ■ 工業製品・エンジニアリング事業

## 研究開発費の推移



※2019・2020年度は実績、2021～2023年度は計画値

## <2023年度売上目標達成に向けた主な取り組み>

### ◇建設・建材事業・・・【18.0億円】

1. ステンドSpeed工法の推進による化粧板の拡販
2. リフォーム向け建材の開発・上市
3. 完全無機不燃断熱材「フェザーロックNeo」の拡販

### ◇工業製品・エンジニアリング事業・・・【5.5億円】

1. 高病原性鳥インフルエンザ待受け消毒材「ヨドックス粒」上市によるアグリ事業への参入
2. 船舶向け商品・システムの拡充  
騒音対策床材、船舶用LNG燃料タンクウレタン吹付け防熱工法の開発

### ◇海外戦略について・・・【4.5億円】

1. 建設・建材事業
  - ・ 中国向けF Gボードの拡販
2. 工業製品・エンジニアリング事業
  - ・ インドでの摩擦材技術提携による輸出拡大
  - ・ インドネシアにおけるアフターマーケット向けブレーキ材の拡販

【新たな取り組みの2023年度売上目標】



CSR2030

**環境負荷低減への投資**

- ・ ガスジェネレーションの導入
- ・ ボイラーの燃料転換

15～20億円

**戦略的投資**

- ・ 環境配慮型製品の開発
- ・ 生産効率の向上
- ・ 海外拠点の整備

6～8億円

**有利子負債の削減**

20～25億円

**株主還元**

連結配当性向  
30～40%

10～12億円



## グループ経営理念

すべてのステークホルダーから信頼される企業として、  
社会の安心と安全を守ります。

人にやさしく、地球にやさしい、  
未来に続く快適な環境を創造します。

情熱をもって熱をコントロールする技術を極め、  
持続的発展を目指します。

私たちエーアンドエーマテリアルグループは、社標にこめたCIカラーである「信頼の青」、「環境の緑」、「情熱の赤」を経営理念の重要な柱として胸にきざみ、グループの総力を上げて企業価値の向上に取り組んでまいります。

中期経営計画の策定に先立ち、  
エーアンドエーマテリアル発足20周年  
の節目である2020年10月1日  
当社グループの経営理念を  
刷新いたしました。

従来からの価値観を継承しつつ、  
社標にこめられた**信頼**、**環境**、**情熱**を  
キーワードとし、コロナ禍の先を見据  
えた道しるべとして定めたものです。

この2023中期経営計画においても、  
新たな経営理念のもと、環境保護と  
社会的責任を果たすと同時に、  
経済的な成長も続けることを目指し、  
グループ一丸となって取り組んでまい  
ります。



# 参考資料

### 株式会社 アスク

1924年	3月	横浜市神奈川区に朝日スレート株式会社を設立（朝日石綿工業株式会社の創立）
1949年	5月	朝日スレート株式会社 東京証券取引所に株式上場
1950年	12月	商号を朝日石綿工業株式会社に変更し、本店を東京都中央区に移転
1987年	4月	朝日石綿工業株式会社の商号を株式会社アスクに変更
1989年	1月	本店を横浜市鶴見区に移転



### 浅野スレート 株式会社

1914年	12月	東京深川に浅野スレート工場を建設し、我が国最初のスレートを製造（浅野スレート株式会社の創立）
1923年	10月	浅野セメント株式会社と合併、同社スレート部となる
1951年	5月	日本セメント株式会社（旧浅野セメント）より独立し、アサノスレート株式会社を設立
	10月	商号を浅野スレート株式会社に変更
1962年	10月	浅野スレート株式会社 東京証券取引所第2部に株式上場



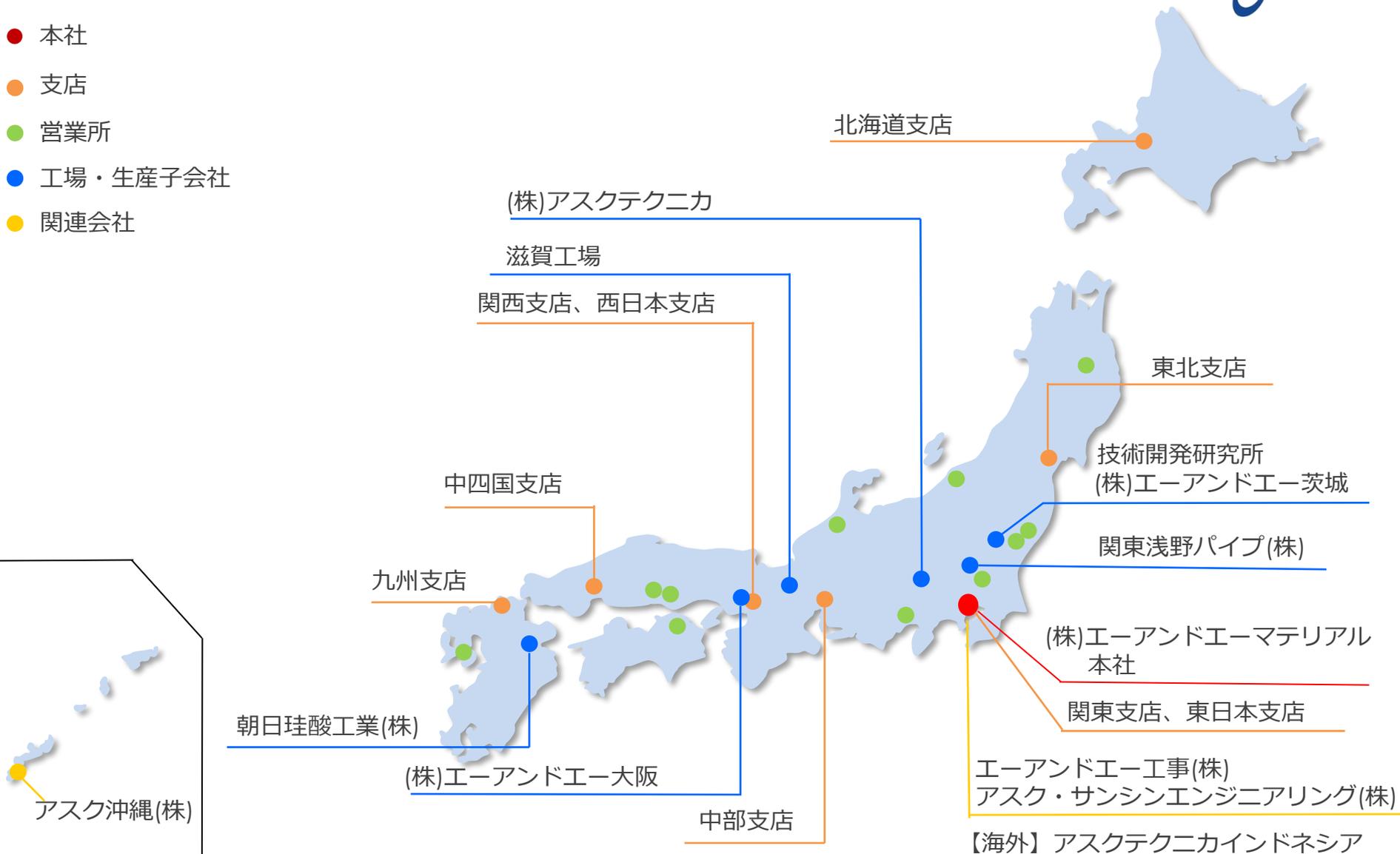
### 株式会社 エーアンドエーマテリアル

2000年	10月	株式会社アスクと浅野スレート株式会社が合併し、株式会社エーアンドエーマテリアルが発足 本店を東京都港区に定める
2002年	6月	本店を横浜市鶴見区に移転

# 事業所の一覧



- 本社
- 支店
- 営業所
- 工場・生産子会社
- 関連会社



## 建設・建材事業

### エーアンドエー工事(株)

建築耐火被覆工事  
不燃ボード工事等

### 関東浅野パイプ(株)

耐火二層管の製造  
建築耐火被覆材料の製造

### (株)エーアンドエー茨城

不燃ボードの製造

### (株)エーアンドエー大阪

不燃ボードの製造



## 工業製品・エンジニアリング事業

### アスク・サンシンエンジニアリング(株)

保温保冷断熱工事等

### 朝日珪酸工業(株)

保温断熱材、トンネル耐火材の製造

### (株)アスクテクニカ

摩擦材、シール材の製造販売

### アスクテクニカインドネシア

摩擦材の製造

### アスク沖縄(株)

保温保冷断熱工事等

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、株式会社エーアンドエーマテリアルが現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、異なる結果となった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

(お問い合わせ先)

株式会社エーアンドエーマテリアル  
総務部総務広報グループ

〒230-8511 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央二丁目5番5号

TEL:045-503-5760

H P:<https://www.aa-material.co.jp>